



問題

さとしくんとまいさんが「地球温暖化の問題」について話し合っています。
2人の会話を読んであとの問いに答えましょう。

さとしくん 「『地球温暖化』ってどんなことか知っている？」

まいさん 「人が行ったことが原因で地球の気温が上がってしまう現象のことよね。世界中で問題になっているのよね。でも、どうして気温が上がってしまうのかしら」

さとしくん 「空気中の『温室効果ガス』には、太陽から地球に届く熱をにがさず、地球上の生物が生きていくのに適した気温を保ってくれる働きがあるんだけど、今は、その温室効果ガスが増え過ぎているからなんだ」

まいさん 「増え過ぎた温室効果ガスが、地球を何枚もの毛布でくるんだように、熱をためて気温を上げてしまっているのね」

さとしくん 「そうなんだ。このまま地球温暖化が進むと、南極の氷がとけて海面が上昇し、土地が海にしずんだり、気候が変化して、生き物が絶滅したりしてしまうよ」

まいさん 「そんなことになったら大変だわ。地球を救うにはどうしたらいいの？」

さとしくん 「実は世界の国々の代表が地球温暖化の問題を解決するために集まり、それぞれの国が温室効果ガスを減らすことを約束したんだ。日本は、基準の年（1990年と一部1995年）に排出した量から6%減らすと決めたよ」

まいさん 「6%ってどれくらいなのかしら」

さとしくん 「日本は、基準の年の温室効果ガスの排出量が約1237百万トン（12億3千7百万トン）だったので、そこから6%の約(1)百万トン減らした約1163百万トン（11億6千3百万トン）が目標値なんだ。2年後の2008年から2012年までの5年間、平均して約1163百万トン（11億6千3百万トン）をこえないようにするんだ」

まいさん 「そんなに多くの量を減らさなければならないのね。2年後というともうすぐよね。今からでもわたしたちにもできることって何があるかしら」

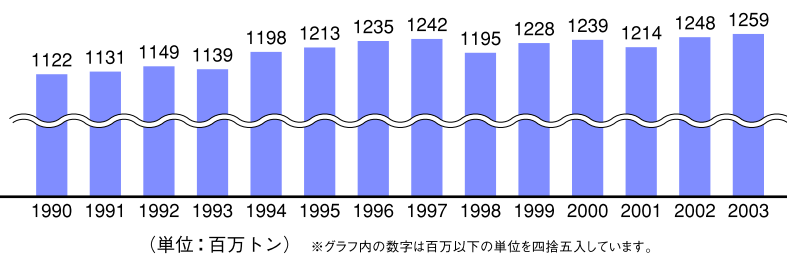
さとしくん 「温室効果ガスの大部分を占めているのが二酸化炭素なんだ。自動車やさまざまな電化製品の利用など、ぼくたちが便利な生活を送るために多くのエネルギーを使ってきたため、二酸化炭素の排出量が増えてしまったんだ(資料1)」

まいさん 「二酸化炭素を減らすにはエネルギーの使い方を考える必要がありそうね」

さとしくん 「そうだね。日本では、環境省が『チーム・マイナス6%』という運動を通して、一人ひとりができる身近な取り組みを提案しているよ」

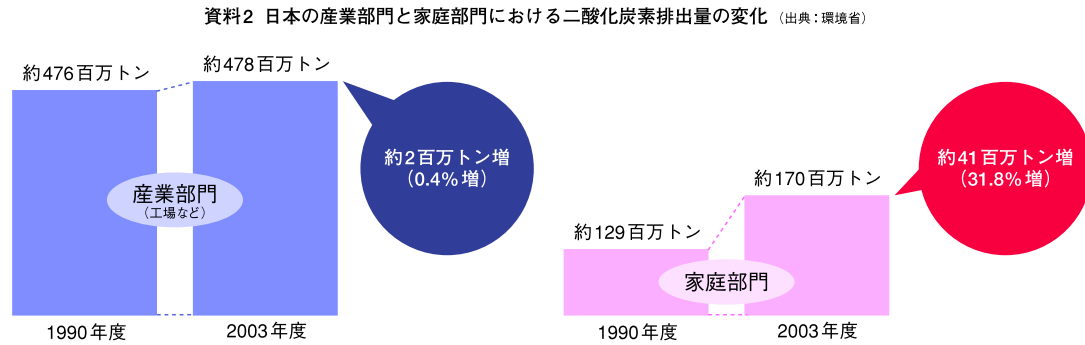
まいさん 「地球温暖化は地球全体の問題だもの。さっそく調べて、家族といっしょに実行していくわ」

資料1 日本の二酸化炭素排出量の変化（出典：環境省）



(1) にあてはまる数を書きましょう。 百万トン

(2) 下の資料2は、二酸化炭素の排出量の変化について、産業部門と家庭部門を比較して表したものです。この資料から、二酸化炭素の排出量の変化について読み取れることを、産業部門の場合と家庭部門の場合の両方にふれて書きましょう。



読み取れること

(3) 日本の環境省が行っている、二酸化炭素の排出量を減らすための「チーム・マイナス6%」という運動は、わたしたち一人ひとりができる具体的な6つの取り組みを提案しています。下の6つの取り組みについて、あなたなら具体的にはどんなことを行いますか。取り組みを2つ選び、それぞれについてあなたの考えた行動を書きましょう。

- 1 温度調節で減らそう
- 2 水道の使い方減らそう
- 3 自動車の使い方減らそう
- 4 商品の選び方で減らそう
- 5 買い物とごみで減らそう
- 6 電気の使い方減らそう

選んだ取り組み

あなたの考えた行動

選んだ取り組み

あなたの考えた行動

(4) 二酸化炭素の排出量を減らすためにエネルギーの使い過ぎをやめるという取り組みは、地球温暖化を防止することのほかにも、よい点があります。それはどのようなことですか。あなたの考えを書きましょう。

あなたの考え